筑紫丘高校同窓会会報

第47号
発行　筑紫丘高校同窓会
福岡市南区野間2－13－1　〒815－0041
電　話092(561)0662
ＦＡＸ092(561)0663
ホームページ http://www.chikushigaoka-dousoukai.com/
印刷　西日本新聞印刷

さらなる発展を期して

田中会長　筑高協会解散など課題

田中義明会長

会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

去る3月1日の卒業式の前日、第62回卒業生398人の同窓会入会式を役員諸氏立会のもと行い、卒業生は総計3万4110人となりました。

ところで今年は役員改選の年でしたが、選考委員会からの強力な要請により、現役員全員の留任を条件に再任することとなりました。会員諸氏の絶大なるご協力、ご支援をお願いいたします。

我々役員の一期目の第一目標は「組織の機能的運営と充実発展」でした。役員会、常任委員会の定例化と内容の充実に務め、役員・常任幹事個々人には会運営の中核としての指導力を発揮していただきました。各種委員会は委員長を中心に役員会との連携を密に、数々の提言をいただきました。定期総会は単一学年実行委員会制とすることで、毎年各学年が独自の工夫を凝らした取り組みを行い、楽しい会となっています。「アンダーの会」の充実は各学年・支部総会の組織の充実と発展に大きく寄与しています。特に近年の東京支部、関西支部の活性化には、その成果が顕著に現われています。

二期目の当面の課題は、財団法人筑高協会解散問題と歴史資料室開設問題です。

筑高協会は筑紫丘学館閉鎖後、同窓会が母校への支援と基本財産（学校林）の維持管理を行ってきましたが、公益法人制度改革により解散を決することとなりました。

歴史資料室は、創刊80周年事業の一環として計画されていたものです。学校・県との折衝が必要ですが、事務局横の通路の部分約42坪を予定しています。

懸案の年会費徴収については見送り、必要に応じて募金をお願いすることに決定しました。

まだまだ課題が山積みしていますが、会員諸氏のご協力を得ながら、解決できるものから処理していきたいと思います。

同窓会役員、全員留任

卒業回の末尾が「1」の回の常任幹事で構成する役員選考委員会（裏西恒夫委員長＝高11回）で、本年度及び来年度の役員選考を実施し、3月17日開催の常任幹事会で全員の留任が承認されました。

役員は次の通り。

職名	氏名(卒業回)	職名	氏名(卒業回)
会　長	田中義明(高9)	理事	寺田光一郎(高30)
副会長	桐生元治(定10)	〃	前川健太(高49)
〃	竹若幸二(高10)	監査	伊藤徹雄(高25)
〃	稲員大三郎(高15)	監査	大坪一彦(高29)
理　事	松崎芳之(高17)	事務局長	加藤久嘉(定15)
〃	森田憲一郎(高20)	事務局員	内田洋子(高24)
〃	井本宗司(高23)		

大学等合格者数

（　）内は現役　H22.3.30現在

	学校名	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
国立	九州大学	120(88)	113(82)	117(82)	120(94)	133(90)
	熊本大学	20(9)	17(16)	7(6)	11(7)	18(14)
	佐賀大学	15(14)	17(7)	12(11)	18(14)	8(4)
	京都大学	14(8)	7(2)	13(6)	12(7)	15(8)
	福岡教育大学	11(9)	15(12)	12(10)	14(11)	11(7)
	長崎大学	8(6)	10(4)	9(5)	6(3)	7(5)
	九州工業大学	8(5)	18(12)	11(8)	8(8)	18(10)
	東京大学	7(3)	15(10)	4(2)	9(5)	7(6)
	広島大学	6(3)	10(3)	6(4)	3(3)	9(3)
	大阪大学	6(4)	5(4)	5(4)	5(4)	11(6)
	鹿児島大学	5(2)	5(2)	6(1)	5(3)	11(6)
	山口大学	4(2)	6(5)	5(2)	8(3)	4(2)
	神戸大学	4(3)	6(4)	3(2)	8(4)	4(3)
	横浜国立大学	4(2)	2(2)	6(2)	3(2)	1(0)
	東京外国語大学	4(3)	0(0)	0(0)	4(4)	2(2)
	筑波大学	3(0)	9(7)	6(3)	2(2)	9(4)
	宮崎大学	3(2)	5(4)	4(2)	0(0)	3(1)
	一橋大学	3(0)	4(2)	2(1)	1(0)	3(3)
	東京医科歯科大学	3(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	北海道大学	2(2)	3(1)	4(3)	0(0)	1(0)
公立	福岡女子大学	6(6)	9(8)	12(12)	10(10)	8(8)
	北九州市立大学	2(0)	4(3)	5(4)	2(1)	6(6)
国公立大学合計		275(179)	304(203)	264(181)	289(204)	319(202)
私立大学	西南学院大学	126(101)	147(98)	96(79)	83(68)	107(82)
	福岡大学	63(38)	70(34)	64(35)	64(31)	78(37)
	立命館大学	54(25)	51(13)	64(15)	47(17)	75(23)
	同志社大学	41(20)	44(14)	27(6)	24(10)	39(7)
	東京理科大学	32(9)	24(6)	15(2)	9(2)	31(4)
	早稲田大学	26(13)	53(24)	28(11)	34(17)	23(5)
	明治大学	20(9)	23(9)	10(3)	15(2)	11(2)
	中央大学	16(2)	17(5)	21(6)	19(9)	16(2)
	関西学院大学	13(7)	14(2)	3(1)	13(4)	13(2)
	慶應義塾大学	12(4)	16(6)	10(1)	13(5)	5(2)
	関西大学	11(8)	10(5)	5(1)	2(0)	8(2)
	法政大学	9(2)	7(6)	4(3)	5(4)	5(2)
	立教大学	8(6)	8(2)	11(7)	4(2)	8(3)
	東京農業大学	5(12)	4(3)	0(0)	2(0)	1(0)
私立大学合計		523(295)	556(257)	408(210)	420(207)	513(230)
大学校・短大学・専門学校等		18(16)	14(14)	24(16)	26(15)	29(20)

新校長に友枝文也氏　4月異動

4月1日付の教職員異動で、城戸英敏校長、榎崇治総括教頭が退職された。本校在職はともに2年間。また、土本功教頭は博多青松高校の校長に昇任された。本年の退職は辻悟先生、中村操先生、荒巻敬子先生（高28回）の3人。真海誠司主幹教諭（高31回）は県教育センターの主任指導主事として赴任し、後任の主幹教諭に高松大輔教諭が昇進。安部廣幸先生（高28回）が修猷館高校に異動になるなど計7人が転出された。

事務関係は床島あゆみ事務次長(高32回)が福岡魁誠高校に転出、代わって坂本宗俊事務次長(福岡魁誠高校)が着任。

一方、友枝文也校長（県教育センター）、小林至総括教頭（筑紫中央高校）、高島孝一教頭（小郡高校）が着任された。また、稲築志耕館高校から天本勝先生ら計7人が転入された。

高い志を受け継いで
大学入試を振り返る

今春の大学入試は、センター試験の平均点が昨年に比べて大幅に下がり、全国的に安全志向が強まった。その中で、本校生は「世界に貢献する」人材となるべく果敢に挑戦。筑高が脈々と伝えてきた高い志を確実に継承した。

結果は、九州大学の120人をはじめ、東京大学7人、京都大学14人が合格。また、国公立医学部医学科に限っても、東大理Ⅲ1人、九大3人など合計10人を数えた。これも同窓会の皆様が社会人講演会や、東京研修でのOB交流会など様々な場を通じ、高い志を持つことの大切さを生徒たちに伝えてくださったおかげであり、あらためてこの場を借りてお礼を申し上げます。

（進路指導主事　高松大輔）

未来に向け人材育てる
友枝文也校長

本年度の人事異動によりまして、県教育センターから校長として着任いたしました。昭和二十六年生まれの五十八歳です。糟屋郡志免町に在住しており、校長として八年目を迎えております。

ただ、3年間学校現場から離れておりましたので、皆様には何かとご迷惑やご心配をおかけすることも多々あるのではと危惧しておりますが、精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

近年では、部活動の活躍とともに東京大学をはじめ多数の生徒が難関大学への進学を果たすなど、県下でも有数の文武両道を兼ね備えた進学校として保護者や地域の信頼を得ています。

したがいまして、今後とも筑紫中学校時代から連綿と受け継がれてきた「日本を背負う筑紫男児の育成」という建学の精神を基本理念として、「優れた知性と他者を思いやる心」、「何事にも負けずに前向きに挑戦する気概」、そして「過去にとらわれず新しい未来を創造する力」を兼ね備えた有為な人材の育成に努めて参りたいと考えております。

誠心誠意尽力します
小林　至総括教頭

この度の人事異動で筑紫中央高から、昭和57年から17年間勤務しました筑紫丘高校に総括教頭として11年振り復帰することができました。私にとって教職最後の年を筑高にご縁を頂き光栄であります。

始業式で応援団指揮による「日本守護、日本開拓、日本創造」の校歌を声高らかに歌う生徒の誇りと自信に満ちた姿に身が引き締まる感動を覚えました。

ご縁を大切にして、筑高、生徒のために誠心誠意尽力する所存であります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「教育の丘」脈々と志を持て生徒たち
前校長・城戸英敏氏

定年を迎え、多くの方々の温かいご支援のお陰で30有余年を大過なく勤め上げられましたことに、厚くお礼申し上げます。

特に最後の2年間を、ここ筑紫丘で過ごせましたことは真に幸せであったとしみじみと実感しております。本校に一教師として奉職した折には、思いの丈をぶつけて教育活動に邁進、生徒たちもその思いによく応えてくれました。この素晴らしい校風が創立以来、脈々と受け継がれてきたものであることは、今日に至るまでの先輩諸氏のご活躍、その足跡を見れば明らかです。

教育を取り巻く環境は、時代の差こそあれ、いつも諸問題が山積みしています。その困難に打ち勝って生徒の進路を保障していくことが、我々教育者に課せられた使命と信じ、校長として舵取りをしてきたつもりであります。

終わりになりますが、学校行事はもとより日々の教育活動にも絶大なるご支援を賜りましたことに衷心よりお礼申し上げますと共に、本校が生徒の高き志の実現の場として益々輝くことを祈念して、ごあいさつといたします。

筑高文化醸成に努める
高島孝一教頭

本年四月の人事異動で小郡高校から本校に着任しました高島と申します。

本校の印象は、先生方も生徒諸君も保護者の方々も、そして同窓会の皆様方も清々しく、明るく、そして何よりも自信に満ちて日々の教育活動や諸活動に邁進されている、と感じたことです。

筑高の学校文化をさらに醸成しなければなりません。私も微力ではございますが、本校のために粉骨砕身の努力をしていく所存でございます。